

ねんりんピック 各地で開始式



小松 勸進帳を上演

第23回全国健康福祉祭いしかわ大会「ねんりんピック石川2010」が開幕した9日、将棋とかるた(百人一首)の会場となる小松市では地元中学生による歌舞伎の熱演や口上などで全国から集まった選手らを歓迎し、伝統文化が息づく小松の魅力を伝えた。【一面に本記】

県こまつ芸術劇場つらつで行われた合同開始式は松東中学生が演じる「歌舞伎十八番の内勸進帳」で幕開けした。

華やかな衣装に身を包んだ役者が迫真の演技を繰り広げ、会場を訪れた選手ら約500人を魅了。続く生徒が口上を披露すると、会場から盛んな拍手が送られ、「歌舞伎のまち小松」ならではもてなしで選手を喜ばせた。

大会長の和田慎司市長が勸進

選手らを歓迎した「勸進帳」の

舞台「県こまつ芸術劇場」の

地域の文化で選手歓迎

帳の舞台である安宅の関を引き合いに「上位を目指し、難関を突破してほしい」と激励。淡路仁茂日本将棋連盟常務理事、山下義全日本かるた協会会長が祝辞を述べ、杉林憲治市議会議長が歓迎の言葉を贈った。将棋とかるたの普及に尽力した彩釉磁器人間国宝三代徳田八十吉氏の功績をたたえた。

県選手団を代表して将棋の前

山代大田楽が演技

加賀

弓道会場の加賀市では同市文化会館で開始式が行われ、出場選手約400人が山代大田楽の演技を楽しんだ。同市では囲碁とゴルフも開催される。

焔太鼓で盛り上げ

白山

ペタンクとソフトバレーの会場の白山市では、同市松任文化会館で合同開始式が行われ、約1200人が大会の成功を期した。大会会長の角光雄市長らがあいさつ、焔太鼓の4人によ

田忠之さん、かるたの杉本博さんが選手宣誓し、健闘を誓った。

日本将棋連盟県支部連合会の富木誠一副理事長や県かるた協会の横山外茂二理事長らが合同開始式に出席した。

ゲートボールの会場となる小松市のこまつドームでは公式練習が行われ、選手らが10日から始まる競技に備えた。

る迫力ある演奏が会場を盛り上げた。

松井選手が激励文

能美

ラグビー会場の能美市では根上総合文化会館で開始式が行われ、選手や関係者約650人が健闘を誓った。日本ラグビーフットボール協会長の森喜朗元首相が祝辞を述べ、2019年のワールドカップ日本招致決定を選手と喜び合った。松井秀喜選手への激励文を父昌雄さんが紹介、県代表の井波豊英選手(金感クラブ)が宣誓した。大会長の酒井悌次郎市長があいさつした。